

2016 年度 名桜大学 学生生活実態調査
<概要>

2017 年 3 月

名桜大学
学生サポート委員会

I 調査の趣旨等

・名桜大学の学生生活実態調査を行い、経済的問題、社会的問題、学業的問題の実態を明らかにする

II 調査の概要

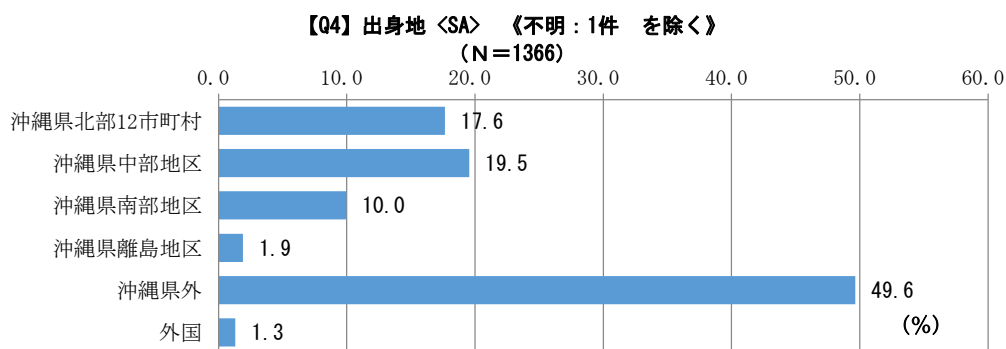
- ・対象者：名桜大学学生1年次から4年次、大学院生の2,084人
- ・調査方法：無記名自記式調査、留置き法
- ・調査期間：2016年
- ・調査内容：属性、居住環境と経済状況、生活状況、健康状況、学修状況、入学状況、進路、教育、大学学習環境（施設）等

III 結果

今回、名桜大学学生生活実態調査を実施し、学群・学部・研究科併せた在籍学生2,084人中1,362人から回答を得た（回収率65.4%）。実態調査回答者の男女比は4:6であり、在籍者構成比率と一致している。さらに出身地別でも、沖縄県内49%、沖縄県外・国外が50.9%であり、在籍学生比率をほぼ反映している。従って、今回の名桜大学学生生活実態調査は母集団を反映した適切な調査であると考えられる。分析結果は今後の大学運営に有意義な資料となる。今回の学生生活実態調査結果の大項目について以下に概要を示す。

1. 対象者の属性

北部12市町村出身学生は17.6%（241人）であり、北部枠推薦で入学した学生数140人を凌ぐ数であることから入学試験での健闘が窺える。この10年で県内・県外出身学生比率や男女比率も逆転している。

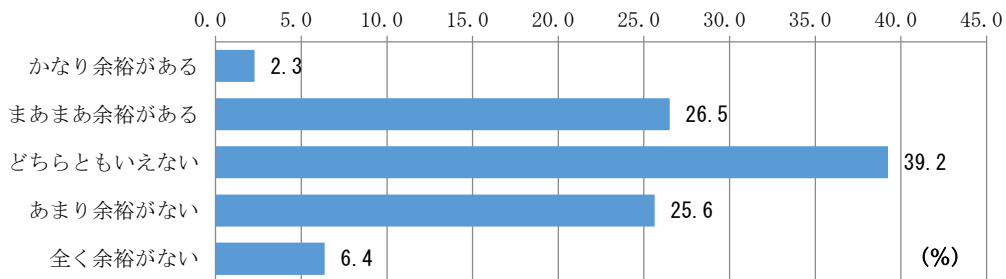


2. 住まい及び経済状況について

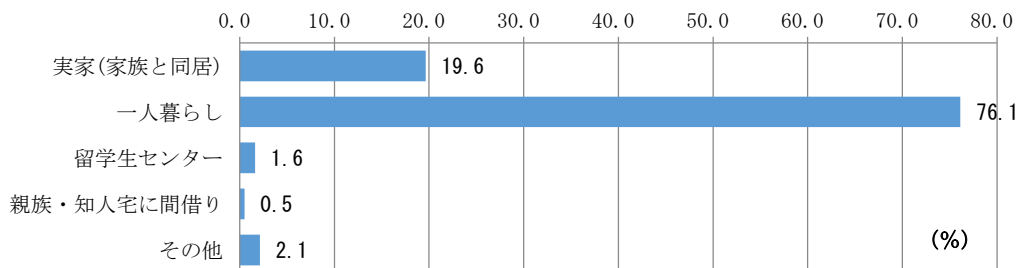
経済状況では、ゆとり層（「かなり余裕がある」と「まあまあ余裕がある」）は28.8%、困窮層（「あまり余裕がない」と「全く余裕がない」）は32.0%となり、ほぼ3人に1人が困窮層であった。家族からの仕送り状況は、「（仕送り等が）なし」が41.7%であった。前回調査（平成25年度）では、「（仕送り等が）なし」という項目がなかったが、「2万円未満」が

52.5%であった。今回の調査では「(仕送り等が)なし」と「2万円未満」が55.1%であることから、本学学生の保護者等と学生の厳しい経済状況にあることが再確認できた。学生の収入は、奨学金受給(63.2%)とアルバイト従事(71.4%)であり、生活費のため(73.3%)に経済的困窮学生がアルバイトを行っていることが窺える。生活困窮学生は、深夜に、長時間、そして、高頻度でアルバイトに従事している可能性が高く、学業への影響が懸念される。

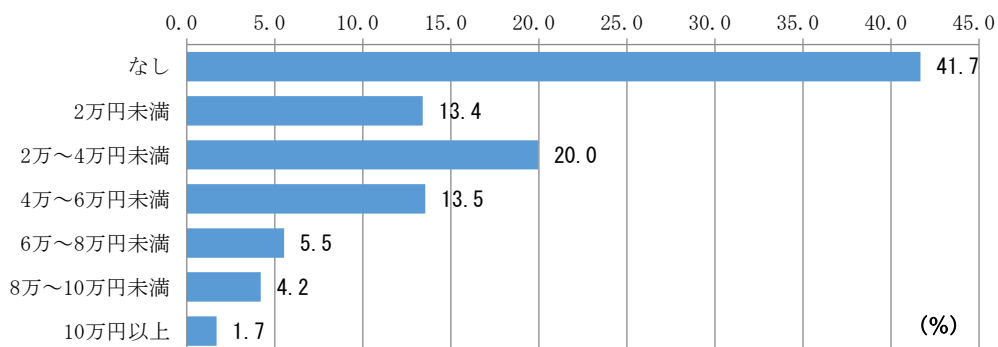
【Q6】現在のあなた自身の経済状況について<SA> 《不明：1件を除く》
(N=1366)



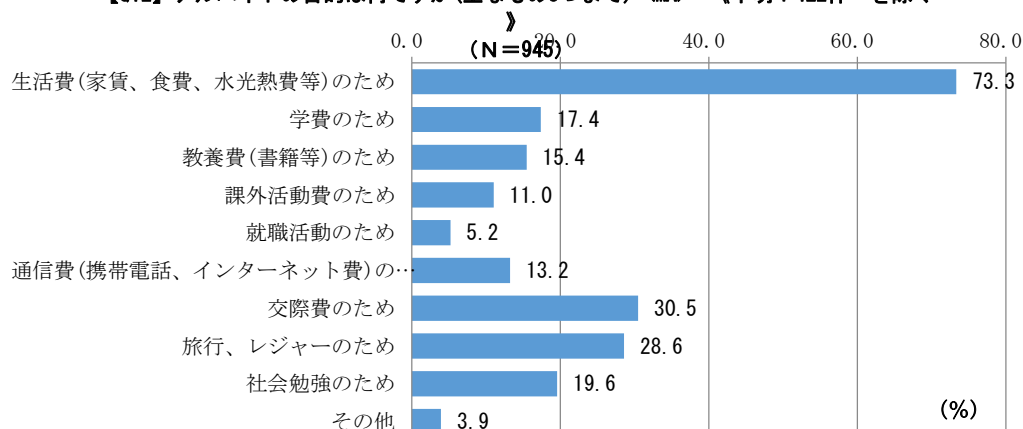
【Q7】現在の居住形態について<SA> 《不明：2件を除く》 (N=1365)



【Q8】家族からの仕送り(小遣い)の平均月額(学納金は除く)はどのくらいですか
<SA> 《不明：9件を除く》 (N=1358)



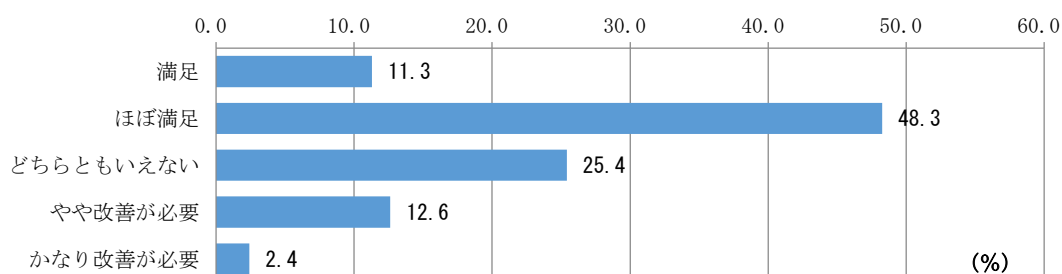
【Q12】 アルバイトの目的は何ですか(主なものを3つまで) <MA> 《不明：422件 を除く》



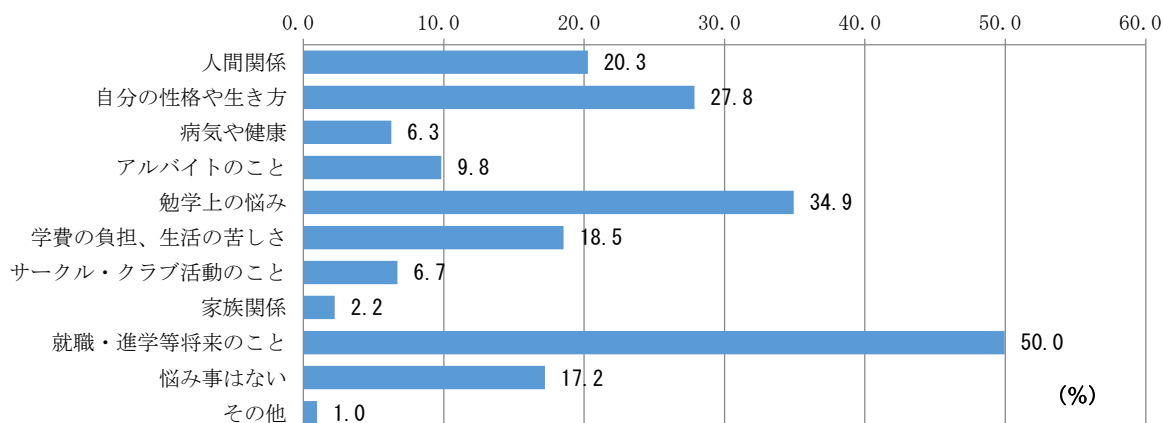
3. 生活状況について

正課外の周辺情報(クラブ・サークル活動、休日の過ごし方、悩み事、相談相手等)の調査で、気軽に悩みを相談できる友人が「いない」6.5%の学生群は、注視が必要であり、学生相談やカウンセリングに繋ぐ工夫が必要である。学生生活についての満足度については、約6割の学生が満足と回答している。しかし、約4割は、目的が分からない、アルバイトに追われる、相談相手がない等の理由があり、考慮が必要である。

【Q26】 学生生活の状況について、どの程度満足していますか <SA> 《不明：163件 を除く》 (N=1204)

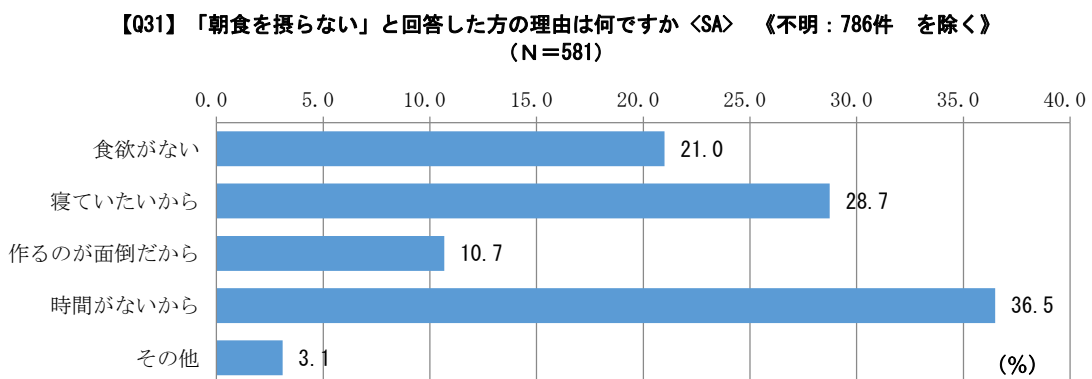
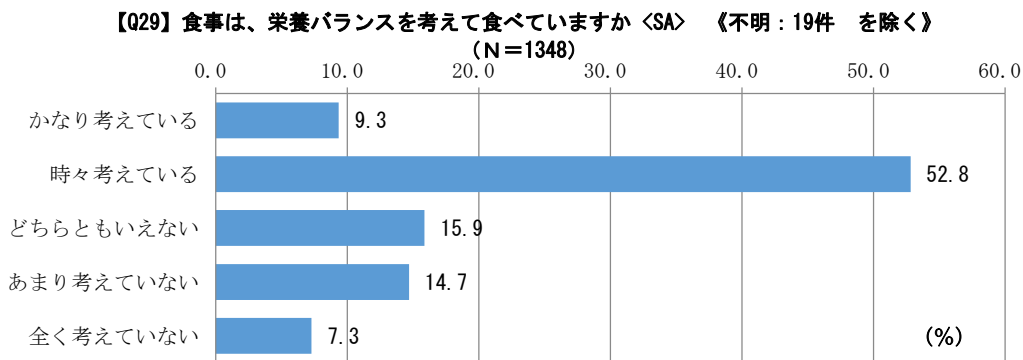


【Q23】 学生生活の中での悩み事は何ですか(主なものを3つまで) <MA> 《不明：24件 を除く》 (N=1343)



4. 健康の状況について

日頃から健康を意識している学生が多く（70.1%）、事実本学の健診受診率は98%と高い。学生の81.3%は、自身で食事を賄っている状況にあるが、食事の栄養バランスについて考えていない学生が22%いる。時間がないから（36.5%）、寝ていたいから（28.7%）等の理由で約半数（47.7%）が朝食を摂っていない状況にあることから、学食・カフェと連携し学生への朝食サービスを推進していくことも必要ではないかと考える。飲酒状況では、半数（55.4%）は飲酒の環境にあり、中でも、毎日飲む学生が0.7%おり、依存状況にあることも考えられる。飲酒の影響について全学的に進めていく必要がある。睡眠時間が7時間未満の学生が50.4%おり、日中眠気で学業に支障をきたしていることが推察される。本学学生の喫煙率は4.8%で、そのうち56.7%が吸うことを止めたいと考えており、禁煙指導の機会を設ける必要がある。喫煙習慣がない学生が9割占める中で副流煙の害を考えると現在講義棟の間に設けられている喫煙場所の撤去は必要である。今回の結果より食・睡眠に関しては、取り組みの強化が必要であると考える。

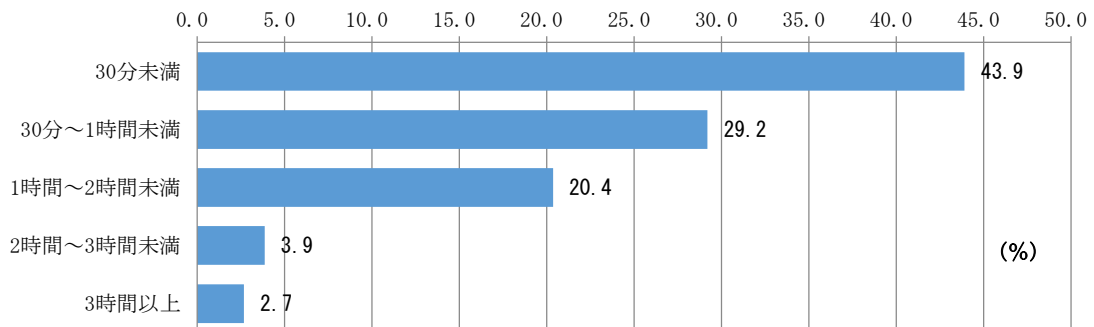


5. 学習の状況について

94.0%の学生が、授業回数の5分の4以上出席しているが、授業以外の1日平均自己学習時間は30分未満（43.9%）であった。一方、試験期間中の1日平均の自己学習時間は3時間以上（35.5%）であることから予習・復習の自己学習時間が不足し、試験前にその場しのぎの学習を行っている。前回調査においても同様の課題指摘があり、本学の未達の課題である。カリキュラムの課題としては、時間割が重なり履修したい科目が登録できない（41.2%）こ

とを指摘している。本課題については、前回調査でも同様に課題が指摘されている。なお、平成 29 年度では、教務部を中心に、カリキュラム編成の改善を実施する予定である。本課題については 3 年後の本調査の実施を待たずに改善状況を調査する必要がある。

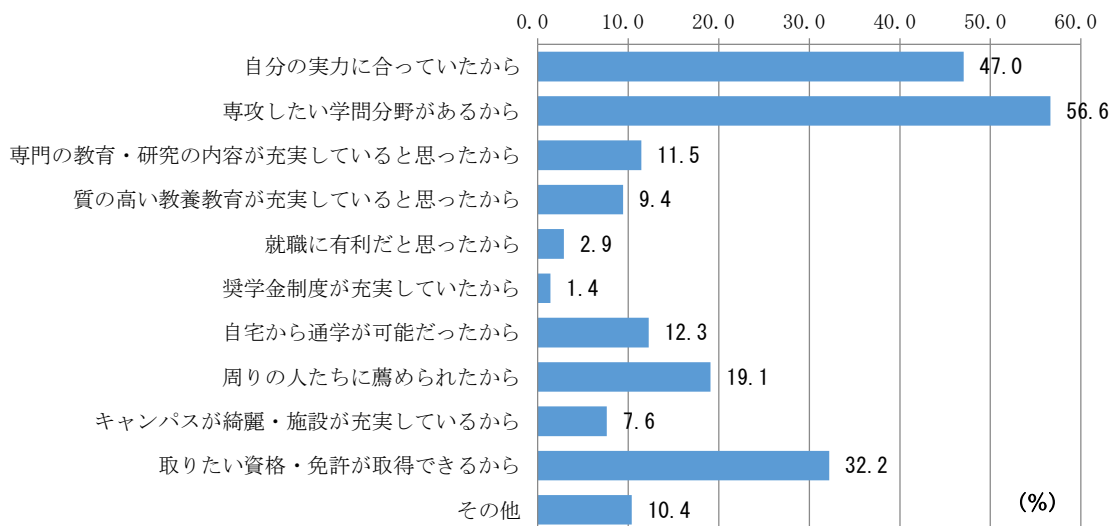
【Q43】 授業時間以外の自己学習の時間は、1日平均どのくらいですか <SA>
 《不明：21件 を除く》 (N=1346)



6. 入学の状況について

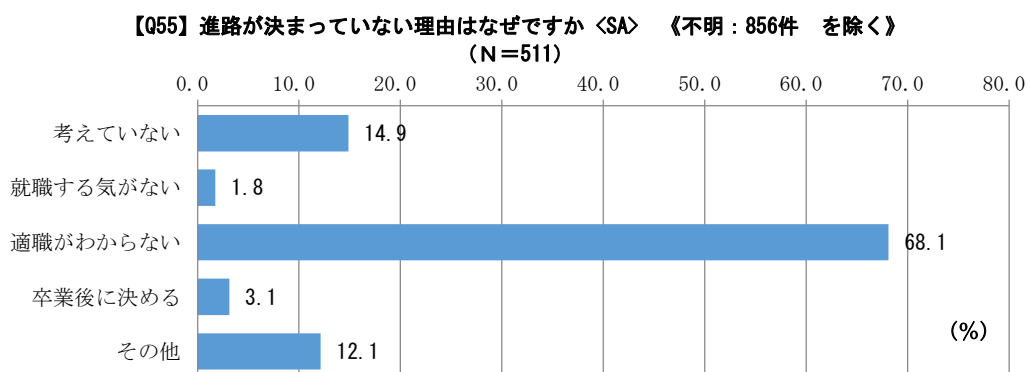
学生は、専攻したい学問分野があるから (56.6%)、取りたい資格・免許が取得できるから (32.2%) で本学を選択し、在学中に幅広い知識や教養を身につけ (52.7%)、専門分野を深く学び (50.3%)、同時に資格・免許を取得し (50.2%)、外国語の運用能力を身につける (30%) ことを目標にしている。一方で、自分の実力に合っていたから (47.0%) という受け身で入学した場合、簡単にやめてしまう可能性が潜んでいる。従って、初年次教育の環境を整備していく必要がある。

【Q51】 名桜大学を選択した理由は何ですか(複数回答可) <MA> 《不明：32件 を除く》
 (N=1335)



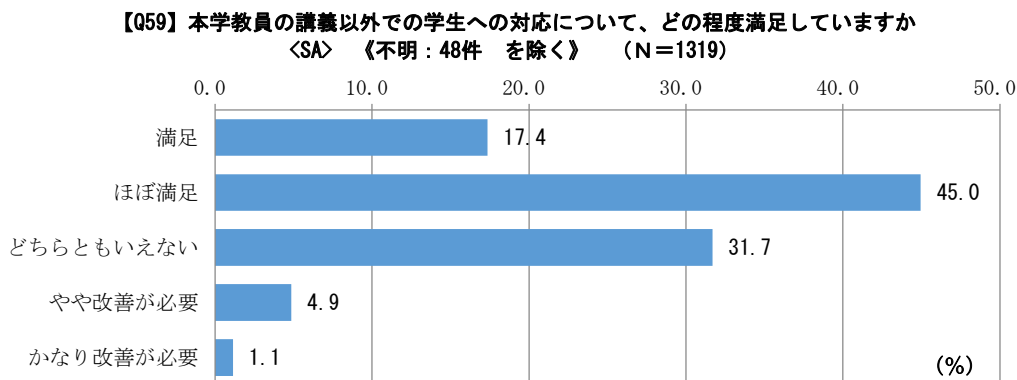
7. 進路の状況について

「就職・進学等将来のこと」が学生生活の悩みと 50%の学生が回答している。全学年で進路未決定が 37.5%であった。公務員志望学生も 27.7%おり、教育・研究職の 14.9%を上回っている。進路未決定理由では、適職がわからない (68.1%)、考えていない (14.9%)、卒業後に決める (3.1%)、就職する気がない (1.8%) であった。進路未決定者数を減少させることが重要な課題である。



8. 教育サービスについて

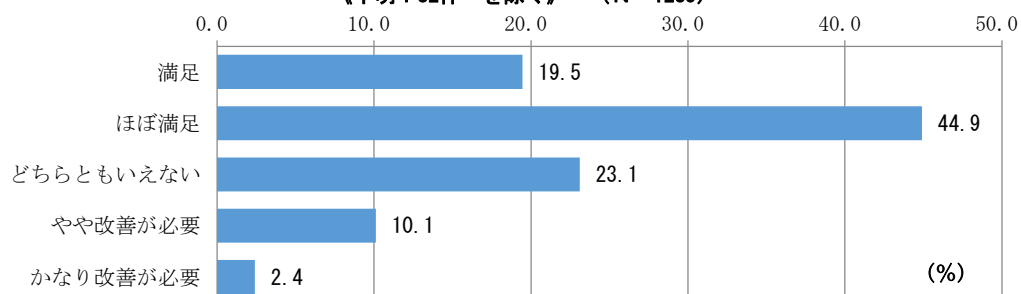
教育サービスにおける満足度は 60%に満たない状況にある。教員の授業においては、学期末毎に実施されている授業評価の有効活用について検討が必要である。さらに、学生の履修状況の把握、オフィスアワー等の活用促進が必要である。



9. 施設について

学食・売店はリニューアルして 2 年目であり、回答学生の 58.4%が利用しており、69.6%が満足していた。カフェについては、77.1%が利用し、86.0%が満足していることがわかる。図書館の利用状況は、50.0%の学生が週平均 1、2 回利用しているが、30.7%は利用していない。学生から、図書館については、「本数を増やして欲しい」の声が多く、学食については「席を増やして欲しい」という声が多かった。

【Q70】施設について、Q62～Q69の回答内容を踏まえどの程度満足していますか <SA>
 《不明：82件 を除く》 (N=1285)



前回調査と比べると、学生生活に満足している者が増加している一方で、経済状況の二極化の傾向がみられ、そのことが健康問題や学業不振、キャリアビジョンの未確立にもつながっていることが示唆された。

前回調査では学生層が私立大学入学層と公立大学入学層に分かれていた。しかし、今回調査では、国公立大学入学選抜による同条件の学生層で統一されており、なおかつ6割を超える学生サンプル数が学部別、学年別等万遍なくとれている。「本学学生の学習・生活面などの環境についての改善点や問題点」が明確にあぶりだされており、「学生のより快適な学生生活環境の実現を目指す」ためには、本調査結果を全学で受け止め、今後の運営等への活用に繋げるアクションが重要である。教育部門にとどまらず事務部門も含め、各部署、各部門での本調査の活用を期待したい。

平成29年3月 名桜大学学生サポート委員会 福利厚生部会